

できるだけ『授』けない授業をめざして

——ひとりだちできる生徒を育てるために——

大野 誠

日々の授業で生徒達に何を一番に与えたいのかと自問すれば、サブタイトルに掲げたように、人に頼らずになんとか自分で物事に対処しようとする (muddle through) 姿勢に他ならない。自分でできることは自分です、自分一人でできないことは教師や友達の助けを借りてするのが本来の姿であろうが、現実には、自ら考えようとせず、ただ与えられたものだけを消化していただくで「勉強」した気になって満足している生徒が多いのではなからうか。そういった受け身の姿勢から脱却するための手立てをいくつか講じてみた。

1. はじめに

さまざまな指導法・教授法が、それぞれに指導者によって工夫されながら実践されている。それぞれの功罪もいろんな形で論じられてきた。指導者の数だけ指導法があるともよく言われる。筆者も教職に携わって14年、いろんな指導法を研究し、実践してきたが、何か違うのではないかという思いを絶えず持ち続けてきた。つまり、もっと学習者が主体的・能動的に英語学習に取り組んでいける方法はないものかと模索してきたわけである。そういったなか、この14年間を振り返ってみれば、生徒どうしによる授業 (クラスを班分けし、分担を決め、順番に授業をさせる) や、生徒自らが選んだ題材を用いた自学自習の授業 (好きな小説を英訳したり、歌詞を和訳したりする)、生徒の知的興味を喚起する教材を教科書以外から求め、モチベーションをたかめる工夫をした授業等、自分なりに実践を重ねてきた。今回は、過去の取り組みをベースにして、以下に述べるような試みをしてみた。

2. 実践から

今年度 (1993年度) は、高校1年生を対象に、年間のシラバスの三分之一を目安に、次に述べるような実践をしてきた。ねらいは、生徒達一人一人の主体的な英語学習を促すことである。

三省堂 CROWN Lesson 4 APARTHEID を例にとって説明してみよう。まずクラスの47人を8班 (一班5～6名) に分ける。それぞれの班に核となれる生徒が必ず入るように、バランスを考えて生徒を割りふる。各班には、班長や Reading の際の Leader の他に、各班独自の役割分担を決めさせ一人一役を原則とする。授業は、前もって割り当てておいた生徒による one-minute speech で始まる。基本的には事前にスピーチ原稿のチェックはしない。またスピーチ中に原稿を見るのは不可とする。各班の生徒は各自、次のようなシート (B5) を持っており、さらに班長には同様のシート (B4) を持たせてある。いわゆる Dicto-compo の作業である。

(資料1)

Group No. () Name ()
Summary <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>
Comment if any <div style="border: 1px solid black; height: 60px;"></div>
Important expressions <div style="border: 1px solid black; height: 70px;"></div>
Difficult structures and words if any <div style="border: 1px solid black; height: 70px;"></div>

生徒は、それぞれシートに必要な事項を記入すべく、メモを取りながらスピーチを聴く。スピーチ終了後、記憶を頼りに数分でシートを完成させ、それをもとにして班で協議しながら班シート（B4）にまとめる。最後に各班に発表させる。所要時間は10分程度である。主なねらいは、漫然と聴かないということと、話し手の言わんとすることの概要をつかみ、さらにそれを自分の言葉で再現する力を養うことである。

次はタスクシートによる作業である。タスクの内容は、事前に生徒達に本文を通読させ、自分がポイントだと思う箇所や表現、さらに掘り下げて学んでみたい箇所や疑問点、難しいところなどを一人一人に提出させ、それを基に筆者が手を加えたものである。これも各班単位の共同作業である。Lesson 4 で用いたタスクシートは、次のようなものである。

(資料 2)

Lesson 4 APARTHEID

Group No. () Name ()

1. Write some sentences using the word "sound" (Verb).

2. () a matter of fact, the word "apartheid" is Dutch in ().
3. Write some sentences (S+V+O+C) using the word "keep".

4. Write as many words such as "apart" (a+part) as possible. e.g. aboard, abroad, etc.

5. Write some sentences using the word "as" in a similar way the writer did on line 4.

6. pass judgement on ... = () ...
7. What kind of Doctor do you imagine Dr. Malan is ?

8. The Japanese are a (black, coloured, white) people.
9. such as ... = ()...
10. How do you pronounce the word "allow" and what is its noun form ? And besides, what is its central meaning ?

11. be allowed = be ()
12. Paraphrase the sentence (l. 12~l. 13).
The races _____
13. The word "see" (l. 14) means ().
14. build a port → Why is the word "make" not used ?

15. Analyze the structure (l. 16~l. 19) and put it into Japanese.

16. What is a synonym of the word "provide" ?
17. What is the root meaning of the word "settle" ?
18. for their cattle farming = in order to () () ()
19. Express the word "advanced" in another way.
20. Write some sentences using the following expressions "come up against ..." and "come up to ..." respectively. And what is the meaning of "up" ?
21. Write as many words including 'ward (s)' as you can.
22. Where were the Dutch East Indies ? Answer in Japanese.
23. in search of ... = () ...
24. Write some sentences using "where" (e.g. Sit where you like. That's the building where I work, etc.).
25. took control of ... = () ...
26. The Boers joined the British in fighting against the Bantu tribes.
= The Boers and the British () () against the Bantu tribes.
27. come to dislike British rule = () to dislike being ruled by the British
28. It is likely that the word "overcome" has a (positive, negative) meaning.
29. think of A as B = () A as B = () on A as B
30. It is likely that the word "quarrel" has a (positive, negative) meaning.
31. It is likely that the expression "break out" usually has a subject with a (positive, negative) meaning.
32. Why do you think the Boers were beaten by the British ?
33. the Second World War = () () ()
34. What is the root meaning of the word "party" ?

35. Write some sentences using the expression “be based on ...”.
36. Now in Japan, the LDP (the Liberal Democratic Party) is the opposition party. The antonym of the opposition party is the () or the party () power.
37. What is a republic ? Explain in Japanese.
38. end (Verb) ... = () an end to ... cf. come to an end
39. take part in ... = () in ...
40. What do the following words such as “settle, set, sit, stand, stay, stop, establish, still, stable, static, steady, standard, statue, etc.” have in common ?
How are their spellings related to their meanings ?
41. What do you think of the Olympic Games ?
42. What do you think of the United Nations ? What do you know about the U.N ?
43. What do you think of racial discrimination or racism ?
44. This lesson is not an original version but a retold one. What do you think of this lesson ?
Do you have any comments or questions about the content or the context?

このようなタスクシートを班で完成させ、順次発表させる。所要時間は、Lesson 4 の場合は、4～5 時間である。辞書の使用は可であるが、本文中に答えのない設問を意図的に多めに入れて、班で相談し合う必然性が生じるよう工夫している。さらに、英字新聞による関連記事（L. 4 では、南アのオリンピック参加、南アの白人投票 大差でアパルトヘイト廃止決定、南ア大統領デクラーク氏のコメント等）で教科書の内容を補足した。

音読についても、各班単位で音読担当の生徒にリードさせ、Choral Reading を適宜やっている。読む箇所は、各班で、ここだけという観点で決定させている。指導者は、各班を回ってモニターする。

3. 評価について

班単位の活動であるから、基本的には評価も班単位で行っている。例えば、3 班全員にプラス 5 点といった具合にである。できるだけプラス志向で各班員にポイントを与えるように努めている。

定期考査においても、筆者の担当クラスだけ独自の出題をさせていただいているので、普段の授業の延長線上の問題（e.g. Write one of your favourite poems in English. What do you think the lesson of this story is ?）を必ず 2～3 割、出題するよう心掛けている。また、年度当初に各自持たせたテープをディクテーションさせ、毎週提出させているので、定期考査でもディクテーションは必ず出題している。和訳の問題、ペーパーでの発音問題は課していない。

4. 今後の課題

試行錯誤の繰り返しなので課題も多い。生徒の中には、このような授業形態に慣れていないために戸惑いや不安を感じている者もいる。教科書を丁寧に学習することだけが勉強なのではないということを説き、しかるべき信頼関係を構築していきたい。one-minute speech の際の Dicto-compo やタスクシートによる活動においても、いかに効率よく時間を使うかという点や生徒個々の充足感をどのようにして与えてやるかという点、さらにタスクシートの設問の配列の点（教科書本文の順序に従っているため、語法的設問と内容的設問がアットランダムになっている）等、今後の実践のなかで、よりよい方向を模索していきたい。

5. おわりに

真の実力をつけるためには、自分で模索して、自分に合ったやり方を見いだすことが肝要であろう。originality や creativity にあふれ、自ら前向きに物事に対処していける生徒を育てて生きたい。その足掛かりとなるべき材料を今後もいろんな形で提供していきたいと思っている。

【主要参考文献】

静哲人 「リーディング教材の扱い方」『現代英語教育』1993年4月号 研究社出版

三浦孝 「英語コミュニケーション授業の実際」 第一学習社、1992

若林俊輔・根岸雅史 「無責任なテストが「落ちこぼれ」を作る」 大修館書店、1993